



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント

コード番号 4751 URL <http://www.cyberagent.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 中山 豪

TEL 03-5459-0202

四半期報告書提出予定日 平成25年4月26日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	82,192	20.7	5,171	△53.3	5,348	△51.2	9,555	87.8
24年9月期第2四半期	68,110	14.6	11,064	45.3	10,969	46.3	5,089	35.5

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 10,211百万円 (75.9%) 24年9月期第2四半期 5,803百万円 (41.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年9月期第2四半期	14,939.20	14,938.61
24年9月期第2四半期	7,857.42	7,853.84

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年9月期第2四半期	81,284		48,229		54.7
24年9月期	136,366		43,594		30.6

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 44,499百万円 24年9月期 41,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年9月期	—	0.00	—	3,500.00	3,500.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	3,500.00	3,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	170,000	20.5	10,000	△42.6	10,000	△41.7	12,000	40.8	18,761.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社サイバーエージェントFX
(注)詳細は、4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	632,133 株	24年9月期	652,497 株
25年9月期2Q	9,291 株	24年9月期	5,125 株
25年9月期2Q	639,622 株	24年9月期2Q	647,701 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

スマートフォン出荷台数は、平成24年度2,898万台（総出荷台数の71.0%）、平成25年度3,160万台（総出荷台数の76.3%）と予測されており、スマートフォンへの移行がますます加速する見通しです（注1）。スマートフォンの急速な普及に伴いコンテンツ配信市場が拡大しており、平成25年度は1.6兆円、平成29年度には約2.0兆円に達するものと予測されています。特にソーシャルゲーム市場が急成長しており、平成24年度は5,385億円、平成25年度には6,150億円に拡大すると見込まれております（注2）。

このような環境のもと、当社グループは、注力事業のスマートフォン向けコミュニティ&ゲームSNS「Ameba」の本格始動とともに、TVCMや交通広告等の大規模なプロモーションを展開する等、スマートフォン関連事業に経営資源を集中してまいりました。その一方で、FX事業を売却する等の事業再編も進めてまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は82,192百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益は5,171百万円（前年同期比53.3%減）、経常利益は5,348百万円（前年同期比51.2%減）、四半期純利益は9,555百万円（前年同期比87.8%増）となりました。

出所 （注1）(株)MM総研 （注2）(株)野村総合研究所

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①Ameba関連事業

Ameba関連事業には、Ameba、アメーバピグ、AMoAd等が属しております。

当事業におきましては、スマートフォン向けコミュニティ&ゲームSNS「Ameba」の成功に向け、大規模なプロモーション展開や前期までインターネット広告事業（旧ネットビジネス総合事業）に属していたスマートフォンメディアの新規開発事業の統合等を行ったため、売上高は13,684百万円（前年同期比7.7%増）、営業損益は4,666百万円の損失計上（前年同期間3,131百万円の利益計上）となりました。

②SAP・その他メディア事業

SAP・その他メディア事業には、(株)Cygames、(株)アプリボット、(株)サムザップ等のグループ会社におけるSAP（ソーシャルゲーム）事業、(株)シーエー・モバイル等が属しております。

当事業におきましては、SAP事業の国内、海外における積極展開等により、売上高は31,512百万円（前年同期比45.0%増）、営業損益は3,243百万円の利益計上（前年同期比4.5%増）となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、当社のインターネット広告事業本部を中心とした広告代理事業やSEM（検索エンジンマーケティング）等が属しております。

当事業におきましては、スマートフォン広告の順調な販売等により、売上高は38,981百万円（前年同期比13.8%増）、営業損益は4,175百万円の利益計上（前年同期比40.6%増）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業には当社のコーポレートベンチャーキャピタル事業、(株)サイバーエージェント・ベンチャーズにおけるファンド運営等が属しており、キャピタルゲインを目的とした国内及びアジア圏の有望なベンチャー企業の発掘・育成・価値創造等を行っております。

当事業におきましては、保有株式の売却等により、売上高は1,405百万円（前年同期比914.8%増）、営業損益は732百万円の利益計上（前年同期間140百万円の損失計上）となりました。

⑤FX事業

平成25年1月31日に連結子会社である(株)サイバーエージェントFXの全株式を売却したことにより、FX事業につきましては、平成24年10月1日～平成25年1月31日までの業績のみを取込んでおります。なお、当事業の売上高は2,916百万円、営業利益は1,686百万円であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間に(株)サイバーエージェントFXを連結の範囲から除外しております。前連結会計年度末におけるFX事業の総資産は74,196百万円、負債は65,192百万円でありましたので、この除外の影響等により、当第2四半期連結会計期間末における総資産は81,284百万円（前連結会計年度比55,081百万円の減少）、負債は33,054百万円（前連結会計年度比59,716百万円の減少）となりました。

純資産は、主に四半期純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加により48,229百万円（前連結会計年度比4,635百万円の増加）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて12,188百万円増加し、31,437百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは3,884百万円の増加（前年同期間は8,781百万円の増加）となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは15,012百万円の増加（前年同期間は4,546百万円の減少）となりました。これは、主に関係会社株式の売却によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは7,165百万円の減少（前年同期間は950百万円の減少）となりました。これは、主に自己株式の取得及び配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であった(株)サイバーエージェントFXは、平成25年1月31日付で全株式を売却したため、当第2四半期連結会計期間の平成25年2月1日より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,925	31,443
受取手形及び売掛金	21,192	22,616
たな卸資産	92	121
営業投資有価証券	3,638	4,155
外国為替取引顧客預託金	51,644	—
外国為替取引顧客差金	12,252	—
その他	6,570	3,474
貸倒引当金	△46	△41
流動資産合計	116,268	61,768
固定資産		
有形固定資産	3,825	3,891
無形固定資産		
のれん	2,991	2,968
その他	7,027	6,873
無形固定資産合計	10,019	9,841
投資その他の資産		
その他	6,305	5,804
貸倒引当金	△53	△22
投資その他の資産合計	6,252	5,782
固定資産合計	20,097	19,516
資産合計	136,366	81,284
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,226	13,222
短期借入金	220	—
未払法人税等	4,711	8,283
外国為替取引顧客預り証拠金	63,468	—
その他	10,952	10,667
流動負債合計	91,579	32,173
固定負債		
社債	100	—
長期借入金	315	51
勤続慰労引当金	122	197
資産除去債務	624	624
その他	24	8
固定負債合計	1,187	881
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	4	—
特別法上の準備金合計	4	—
負債合計	92,771	33,054

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	5,400	2,289
利益剰余金	30,379	36,461
自己株式	△1,388	△1,964
株主資本合計	41,595	43,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	310	423
為替換算調整勘定	△138	85
その他の包括利益累計額合計	171	509
新株予約権	121	121
少数株主持分	1,705	3,608
純資産合計	43,594	48,229
負債純資産合計	136,366	81,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	68,110	82,192
売上原価	39,401	52,607
売上総利益	28,708	29,584
販売費及び一般管理費	17,643	24,413
営業利益	11,064	5,171
営業外収益		
受取利息	18	9
持分法による投資利益	—	0
為替差益	32	165
その他	53	97
営業外収益合計	104	272
営業外費用		
支払利息	17	15
持分法による投資損失	62	—
消費税等調整額	64	42
その他	55	38
営業外費用合計	200	96
経常利益	10,969	5,348
特別利益		
関係会社株式売却益	52	16,409
その他	41	304
特別利益合計	93	16,714
特別損失		
減損損失	561	2,098
事業撤退損	31	1,687
その他	309	601
特別損失合計	902	4,387
税金等調整前四半期純利益	10,160	17,674
法人税、住民税及び事業税	4,388	8,884
法人税等調整額	535	△1,025
法人税等合計	4,924	7,859
少数株主損益調整前四半期純利益	5,236	9,814
少数株主利益	146	259
四半期純利益	5,089	9,555

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,236	9,814
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	441	164
為替換算調整勘定	73	134
持分法適用会社に対する持分相当額	51	97
その他の包括利益合計	567	396
四半期包括利益	5,803	10,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,658	9,892
少数株主に係る四半期包括利益	145	318

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,160	17,674
減価償却費	1,374	2,061
のれん償却額	179	201
減損損失	561	2,098
為替差損益(△は益)	△76	△362
関係会社株式売却損益(△は益)	△52	△16,409
事業撤退損	31	1,687
売上債権の増減額(△は増加)	△4,750	△1,589
外国為替取引預け委託保証金の増減額(△は増加)	1,499	1,549
外国為替取引未決済額の純増減額(△は増加)	304	208
仕入債務の増減額(△は減少)	2,009	1,131
未払金の増減額(△は減少)	809	133
未払消費税等の増減額(△は減少)	△227	△245
その他	1,288	365
小計	13,112	8,505
利息及び配当金の受取額	33	14
利息の支払額	△14	△15
法人税等の支払額	△4,349	△4,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,781	3,884
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△435	△600
定期預金の払戻による収入	405	74
有形固定資産の取得による支出	△1,391	△1,326
無形固定資産の取得による支出	△3,031	△3,370
投資有価証券の売却による収入	179	535
関係会社株式の売却による収入	221	6,814
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	50	13,447
その他	△542	△563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,546	15,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△220
長期借入金の返済による支出	△709	△501
社債の償還による支出	△100	△100
少数株主からの払込みによる収入	677	865
自己株式の取得による支出	△1,999	△5,004
自己株式の処分による収入	439	71
配当金の支払額	△2,275	△2,257
自己株式取得目的の金銭の信託の払戻による収入	3,002	—
その他	15	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△950	△7,165
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	457
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,385	12,188
現金及び現金同等物の期首残高	18,108	19,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,494	31,437

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	Ameba関連	SAP・その他 メディア	インターネッ ト広告	投資育成	FX	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	9,752	21,153	33,039	138	4,026	68,110	—	68,110
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,948	581	1,221	—	—	4,752	△4,752	—
計	12,700	21,735	34,261	138	4,026	72,862	△4,752	68,110
セグメント利益又は 損失(△)	3,131	3,104	2,970	△140	1,997	11,064	—	11,064

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	Ameba関連	SAP・その他メディア	インターネット 広告	投資育成	FX	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	10,417	31,000	36,451	1,405	2,916	82,192	-	82,192
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,267	511	2,529	-	-	6,308	△6,308	-
計	13,684	31,512	38,981	1,405	2,916	88,500	△6,308	82,192
セグメント利益又は損失(△)	△4,666	3,243	4,175	732	1,686	5,171	-	5,171

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間において、当社は、平成25年1月31日に「FX事業」に分類しておりました(株)サイバーエージェントFXの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。

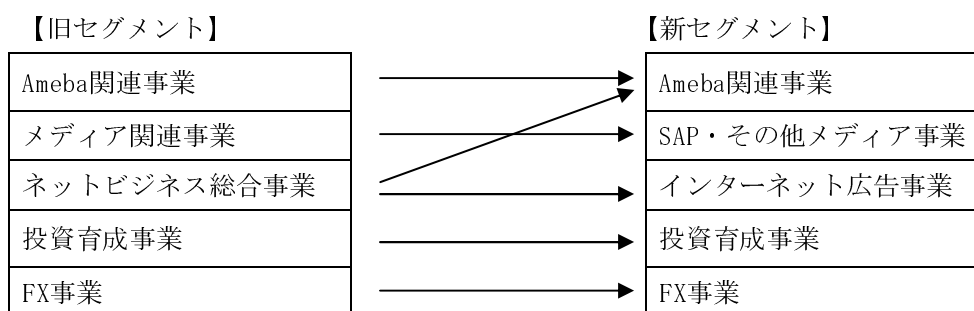
この結果、「FX事業」セグメント資産の金額はなくなっております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、前期よりスマートフォン関連事業に経営資源を集中してまいりました。当期につきましても、スマートフォン向けコミュニティ&ゲームSNS「Ameba」の成功に引き続き注力し、従来以上に経営資源をスマートフォン関連事業に集中するため、事業再編等の経営資源配分の見直しを行いました。この再編に伴い、以下のとおり、社内業績管理体制をベースにした新たな報告セグメントに変更しました。

なお、変更後の報告セグメントに基づいた前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は「I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)」に記載しております。

- ① 従来の「ネットビジネス総合事業」に属していたスマートフォンメディアの新規開発事業等を「Ameba 関連事業」に統合し、「ネットビジネス総合事業」の名称を「インターネット広告事業」へ変更しました。
- ② 従来の「メディア関連事業」につきましては、ソーシャルゲーム事業の拡大等の事業の実態に合わせ、名称を「SAP・その他メディア事業」に変更しました。



4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「SAP・その他メディア」、「Ameba関連」、「インターネット広告」セグメントにおいて、一部サービスの収益性の低下及び事業再編に伴うサービスの廃止等により当初想定していた収益が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、下表のとおりであります。

SAP・その他メディア	1,866百万円
Ameba関連	224百万円
インターネット広告	7百万円
合計	2,098百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。